



YES 通信

〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2023年9月号

G20で分かった世界のパワーバランス

このところメディアではあまり報道されていませ
んがネットの情報では、脱アメリカ、脱ドルの流れ
が進んでいるようです。日本のメディアは、アメリ
カのメインメディアの情報をコピーして流すだけな
のでこのような報道は一切なされません。

その様な中、私が読んでいる鳥居さんのメルマガ
にとても良い記事が掲載されていたので共有したい
と思います。(以下引用開始)

今回はインドでG20が開催されました。過去2
5回のG20で最も難しい舵取りをモディ首相は見
事になされました。今年のG20は当初、ウクライ
ナ問題が片付いていないので共同宣言が採択される見
込みがないとの見方が大方の予想でした。

今年はロシアのプーチン大統領と中国の習近平国
家主席が出席せず、下位の代表が参加しました。こ
うした中でインドのモディ首相は、サミット初日に
共同宣言のウクライナをめぐる文言について合意に
至ったと強行に発表。サミット開始から数時間後の
この発表には大勢が驚きました。

ロシアは歓迎し、ウクライナは激怒。しかしアメ
リカもイギリスもインドをたてて静観しました。

これはとりも直さず西側はもはやウクライナを見
捨てたといつて過言ではない発表でした。これら一
連の事実が何を意味するのか？僕は西側先進国の限

界と米ドル崩壊の序章を感じました。

ブラジル、ロシア、インド、中国、南アからなる
新興5カ国(BRICS)は新たに6カ国が加盟するこ
とを発表しました。新メンバーのアルゼンチン、エチオ
ピア、エジプト、イラン、サウジアラビア、アラブ
首長国連邦。いずれもドル崩壊を企む中国と深いつ
ながりがあります。

特に産油国がBRICS入りしたのはアメリカに
とって脅威となるでしょう。もはやバイデン大統領
のせいだサウジとの関係修復が困難となり、アメリ
カは四面楚歌となっています。

さらに今回からアフリカ連合として代表の参加が
許された。アフリカ諸国も当然チャイナの息がかか
っています。世界がもう戦争殺人外交で好き放題して
いるアメリカにNOと言いはじめています。

今までは1国では怖くて言えなかったのが、BR
ICSプラス中東連合とパワーアップしたことによ
り確実に前進し、西側の大きな脅威となっていま
す。アメリカの軍事力を武器に好き勝手やって来た
ツケが回って来たと言えそうです。

そんな沈みゆく船のアメリカに従順な犬として従
える日本。大丈夫なのか？大丈夫な訳がありません。
日本はそれ以上のスピードで沈んで行くので
す。

今回のG20で分かったのは、インドのブレゼン
スの高さです。絶妙な世界のリーダーシップを發揮
したモディ首相。どこかの国の首相とは大違い！日
本が今すぐ潰すべきことは、インドに仲介した
き、こちらのグループに入れてもらうことだと思
います。(以上引用終了)

テレビのニュースを中心に見ていたら、アメリカ
は民主主義の国で世界のリーダーだと思っている方が
多いと思いますが、アメリカはとても分断がすすん
でいて、とても民主主義の国とは言えない状況にな
ってきています。しかし、今の民主党政権はメデ
アをコントロールしているので、民主党に都合の悪
い情報はあまり流れて来ないのが現状です。

鳥居さんの問題提起もまさにそこにあります。ア
メリカの民主党政権の言いなりの岸田政権を鳥居さ
んは早く倒すべき、そのために若者は怒るべきとお
っしゃっています。

私は、そこまで政治通ではないので鳥居さんのよ
うに言い切れませんが、なんとかしないとイケない
という気持ちは同じです。今までは、はいはいとア
メリカの言うことを忠実にやっていたればなんとか平
和が保たれていました。しかし、アメリカの力が急
速に衰えてくるとそれが大きなリスクになりそう
です。日本に原爆を投下し多くの民間人を殺したのは
アメリカです。同様に多くの国から恨みを持たれて
いるのもアメリカです。これからの世界情勢からは
目が離せません。

やる気相談室

過敏症

化学物質過敏症って花粉症のよう流行してる!!

化学物質過敏症って知っていますか？

化学物質過敏症とは

化学物質過敏症は過敏

という名が示すように、

ごく少量の物質にでも過

敏に反応する点ではアレ

ルギー疾患に似ていま

す。最初にある程度の量

「なぜ苦しいのかな？」と花粉症が一般化する前はそんな感じだったので、

今、凄く勢いで化学物質過敏症の患者が増えているようなので注意したいですね。

化学物質過敏症は、アレルギー疾患者の

性格だけでなく、低濃度の化学物質に反復

曝露されていると体内に蓄積し慢性的な症

状を来すという中毒性疾患に近い性格も兼

ね備えています。

化学物質過敏症は未解明の部分が多い疾

患ですが、このようにアレルギー性と中毒

性の両方にまたがる疾患、あるいはアレルギー

と急慢性・慢性中毒の症状が複雑に

絡み合っている疾患であると考えられています。

(厚生労働省長期慢性疾患総合研究

事業アレルギー研究班「化学物質過敏症

思いのほか身近な環境問題」パンフレット

参照)

まずは、化学物質により様々な症状が誘

発される方がいることを知っていただき、

苦しんでいる方への配慮をお願いします。

柔軟剤の香りで頭痛や吐き気がするとい

う方がいます。自分にとって快適な香り

でも、不快に感じる方がいることをご理解

ください。香りの強さの感じ方には個人差

があります。使用量の目安などを参考に周囲



す。

ちなみに私は、シャンプーやリンスやボ

ディッシュャンプー、食器洗剤は一切使用し

ていません。おかげで、原因不明の肌トラ

ブルがなくなりました。福山雅治さんやタ

モリさんもお風呂に入るときは石油製品は

使わないことを実践なさっているみたいで

す。

呼吸困難

せき・くしゃみ

鼻水

目の痛み

吐き気

頭痛

関節痛

(船越典子院長への取材を基に作成)

書籍紹介

買い物は投票なんだ

藤原ひろの 著

著者で社会活動家の藤原ひろの氏は我が子の出産を機に世の中の問題に興味を持ち始めます。そして3.11の災害以降その問題意識は高まるばかりでした。添加物、農薬、放射能、化学物質、遺伝子組み換え食品、ワクチン、必要以上の薬……知れば知るほど、私たちの目の前にはたくさん問題があることがわかってきました。そして、子どもたちのからだは悲鳴をあげています。「私たちはどうしたらいいの？」

そんなことを考える中で、私たちの日々の選択(買い物)と社会とが繋がっていることに気づいたので。主人公のEARTHおじさんと一緒に子供たちの生活をほんの少しでも良くする方法を考えてみませんか？EARTHおじさんが喜ぶことは地球がもっと良くなって住みやすい地球になることです。「買える」を「変える」ことで地球をもっと住みやすく、そして子供たちの健康を守ることが出来るのです。

書画作家ほうさんの絵もとても親しみやすく、お子様と一緒に「買える」ことを考えて「変える」ための素晴らしい参考書になる本だと思います。私もこの仕事を18年間やってますが、子どもたちの体調は年々悪くなっていると感じています。アトピーや花粉症、学習障害に不登校等数え上げるときがありません。子ども達の健康を守るのは子ども達自身とみなさんにしか出来ません。投票するのはみなさんなのです。

